

平成21年度 第4回 京都市自転車等駐車対策協議会 摘録

- 1 日時 平成21年12月14日（水）午前10時5分から午前11時45分まで
- 2 場所 ホテル本能寺 醍醐ホール（5階）
- 3 内容

（1）会長あいさつ

本日は総合計画の素案を作成する段階に入った。これまでの皆さんの意見を取りまとめた素案のたたき台を事務局で作成しているの、確認して素案として固めていきたい。本日の素案が了承いただければ、パブリックコメントの実施という流れになっている。本日も活発な意見をお願いします。

（2）資料確認

（3）定足数確認

【事務局】

本協議会の委員数30名のうち、現時点で21名の出席（最終23名出席）があり、委員の過半数を超えることから、「京都市自転車等放置防止条例施行細則」第13条第3項の規定に基づき、本日の会議が有効に成立することを確認する。

（4）委員の紹介

（5）議題（1）本日の協議内容と今後のスケジュール

【事務局】

（資料説明）

（6）議題（2）改訂京都市自転車総合計画（素案）について

【事務局】

（資料説明）

【塚口会長】

これまでの意見がそれぞれ反映されているようだが、委員から何か意見等があれば、お願いします。

【古川委員】

府では、JTBと連携してレンタサイクルを導入したが、もう少し色々な観点から十分に調査した上で、実施してほしい。ホテルと連携して事業実施していた既存の業者がホテルとの契約を打ち切られたという話も聞く。また、レンタサイクル事業に雇用促進という観点も含めて実施しているため、自転車を整備できない者が採用されたりするとも聞く。市についても、今回作成した駐輪マップに一部の業者しか載っていないのは不公平だという意見を聞く。今後、このような取組をする際には、十分な調査を行ってから実施しないと迷惑を被る人もでてくる。

【事務局】

総合計画には、都市型レンタサイクルの導入促進を掲げているが、取組の推進に当たっては、十分な調査を行い実施していきたい。駐輪マップは、放置自転車が問題となっている駅周辺での駐輪場の紹介を主眼に置いたものである。周辺情報として駅周辺地域内で把握していたレンタサイクル事業者も掲載しているが、こうした前提で作成したものであることを御理解いただきたい。

【上村委員】

デンマークでは都市交通に自転車を取り入れて成功したと聞いている。小谷先生にデンマークでの取組をお伺いしたい。

【小谷委員】

デンマークでの個別の取組については詳しくないので、次回に説明できるようにしたい。

【上村委員】

「歩くまち・京都」と連携するとは、具体的にどのようなことをするのか。

【事務局】

健康志向や環境への関心の高まりを受け、自転車の利用は促進されている。そのために増える放置自転車に対しては対策を行っていききたい。走行環境やマナーの確立については別の担当部署があることから、協力して取り組んでいきたい。本協議会でも、PDCAサイクルの中で意見を伺っていく。また、自転車は私的な交通機関であることを踏まえた利用者マナー・ルールの向上についても、しっかりとやっていきたい。

【井原委員】

今日は会場まで歩いてきたが、自転車の右側通行が3人いた。また携帯電話で話しながらの自転車走行も2人いた。マナーのことは早急に取り組んでいかないといけない。行政に任せるのではなく、我々委員が積極的に注意していくことが必要ではないか。オランダでは、市民が注意している。京都でもそのような状況になることを期待している。

【長島委員】

身体障害者の視点から駐輪のことを話してきたが、身体障害者も使いやすいように整備することが記載されているので、ありがたく思う。

外国では、電車で自転車を乗せているため、駅周辺に駐輪場がいない。目的先の学校や職場に駐輪場があれば良い。

【槇山委員】

近鉄では、自転車を電車に乗せることを一部の閑散線区で実施している。また、団体に臨時列車を出すときにも事例がある。都市部ではできていないので、今後の研究課題である。

31ページの鉄道事業者の役割のところ、内容的には異論は無いが、表現的に直した方が良いのではないかと。

【事務局】

記述の仕方を変更していきたい。

今後も、鉄道事業者等と行政が密に連携していきたいという意味合いで書いていることは理解していただきたい。

【塚口会長】

冊子全体のトーン、論調も統一されるようお願いする。

【村山委員】

府警においても、自転車を悪者にしないという観点での対策が必要とのことで取組を行っている。これまでは自転車は交通弱者であったが、歩道を走れるようになったことから、歩行者への脅威となっている。今後も、自転車走行マナーに力を入れて取り組んでいきたい。確かに、自転車はどこを走ったらいいのかははっきりしていない面があった。啓発や教育にしっかりと取り組んでいきたい。このような協議会で、市民に問題提起して前向きに検討していきたいと考えている。

駐輪場については、今後も鉄道事業者に対して発生源対策として整備をお願いしたいと考えており、期待している。

【秋田委員】

今出川通では、歩道が狭く自転車は通れない。学生はそれでもスピードを出して通るので、歩行者は怖い。また、携帯電話をかけながらの学生も多い。歩道に商品を出している店舗もある。

【塚口会長】

マナー問題の解決は大変難しい。自転車の使い方についても、市民にもっと理解してもらう必要がある。

【大賀委員】

中学生への自転車利用のアンケートをとっていただき、ありがとう。

下京区で、小・中学生に対して交通安全教室があった。保護者も一緒に参加しており、自分たちの3人乗り走行が危ないということを再確認していただいた。啓発活動のところで、高校や大学生だけでなく、幼児を対象にした取組も記載してほしい。また、保護者も含めて教育をしてほしい。

【高田委員】

委員の意見がよく反映されていると思う。

私は交通安全パトロールをしているが、マナーやルールを守らない人が多い。計画が策定されることは良いことだが、具体的にはどのように進めていくのか。また、撤去の強化として土日祝日とあるが、現実にどれぐらいの裏付けがあって書いているのか。その辺りまでもっと具体的な記載にならないだろうか。

【事務局】

今後、この計画に責任を持って実施していきたい。PDCAサイクルで、皆様と一緒に進めていきたい。地域や鉄道も含めて一緒に、着実に進めていきたい。毎年チェックして進めていく仕組みを作っている。10年間の計画の中で、10年間の目指すべき姿を記載している。具体的に書きすぎるのも難しい。

【塚口会長】

10年の計画であるので、あまり具体的に書くと、それ以外はしないということにもなる。計画の表現は抽象的だと思うが、裏ではきちんとした内容で詰めてほしい。

【溝口委員】

走行空間に関しては、自転車だけの問題ではないのではないか。小さい店舗は駐輪場を持っていないので、道路にはみ出して止めている場合もある。店舗への搬入自動車や客待ちタクシーもいて、自転車で走る場所がない。この計画の中で、他の交通機関に対しても働き掛けを記載できないだろうか。

【事務局】

若干、派生的な話でもある。幸いにして戦争で被害が少なかったこともあり、京都は歩道・道路が狭い。店舗側の整備として付置義務の強化を行っており、全国で一番厳しい内容だと思っている。また、民間駐輪場の整備に対して補助を出している。

他の交通機関のことについて記載できれば、素晴らしい計画となるが、まずは自転車を中心に記載していきたい。

【塚口会長】

すべてを書き込むことはできない。計画の位置付け、関連計画もあるので、その中で考えていくものではないかと思う。

【石野委員】

駐輪場を整備することが、第一である。そのうえで、マナーを守ってきちんと使うことが重要である。市役所前に400台分が整備されたが、まだ埋まっていない。ロックをしない者やイタズラする者など、不正利用者が多い。

駐輪場は安い料金で貸し、悪いことをしたら高い罰金を取るというぐらいのメリハリが必要ではないか。夜間料金を設定しないと夜間は誰も止めないのではないか。整備しても無駄になる。

また、駐輪場をもっと目立つようにしてほしい。景観に配慮したと言われるが、暗かったらイタズラされるし、盗難もある。南側では明るい駐輪場をつくってほしい。

撤去についても同じ時間帯ではなく、時間を変えて撤去すべきである。駐輪場があるのに、放置自転車があっては見苦しい。

【事務局】

事業者には、使いやすい料金体系で運用していただくよう指導している。民間や指定管理者もあるので、採算のとれる料金にしていく必要はある。

現在、撤去は平日昼間だけ行っている。市道で放置自転車の多い73箇所撤去を行っている。来年からは鴨川でも市が一元撤去するし、国道の放置が多いところも市が撤去していくことを検討している。また、常時土曜日も撤去を実施していきたい。不十分な取組については、今後も意見を聞いて進めたい。

【上村委員】

京阪藤森駅で400台ほどの駐輪場が整備されると回覧で見た。料金について1日150円となっていたが、これまで無料であったのに、150円では止める人がいなくなるのではないか。

【事務局】

現在、藤森駅周辺には、市営の無料駐輪場があるが長期駐輪が多い。また京阪も有料駐輪場を設置しているが一杯の状況である。少し南の丹波橋駅では、無料駐輪場を一部拡張して150円の有料駐輪場にしたら、放置自転車が激減した。このような実例がある。有料管理型の駐輪場としてしっかりと管理し、最終的には700台規模に拡大していきたい。

【前田委員】

料金体系は、市と協議して決めていきたい。料金の考え方は、市営が150円であること、丹波橋駅等で150円で運営していること、維持管理をしていく必要があること等を踏まえ経験的に150円と設定させていただいた。無料時間は未定だが、最初30分無料というようなことも検討している。民間なので実態に応じて見直していきたい。

【小谷委員】

総合計画は10年間の方向性として間違っていないかを確認してほしい。

実際に計画どおりに進んでいくかが気になるところであるが、地域状況等に応じて、取組を組み合わせる必要がある。毎年、地域毎に取組を組み合わせる実施してほしい。地域のベストプラクティスとして、うまくいったことを意見交換できるような場を作っていくと計画が生きていくのではないか。

【塚口会長】

では、本日頂いた意見を踏まえたうえで、素案を修正し、パブリックコメントにかけて良いか。

【委員】

異議なし。

(7) 議題(3) 改訂京都市自転車総合計画(素案)に対する市民意見募集について

【事務局】

(資料説明)

【塚口会長】

これは通常の市が行っている手順と同じか。

【事務局】

同じである。

【塚口会長】

このような方法で実施することにしたい。次回の協議会で結果を報告していただきたい。

(8) 会長あいさつ

本日も建設的な意見をいただき、素案としてまとまった。私は3ページの位置付けに着目し、総合計画がどういう役割を果たすのかが重要ではないかと考えている。自転車総合計画を市基本計画等の上位計画を受けた自転車のマスタープランとして位置付け、駐輪対策だけの計画でなく、走行環境・走行マナーも踏まえた、自転車全体のことを取り扱った計画として特徴があると思う。

市民意見を踏まえ、第5回の協議会をもって総合計画案に仕上げていきたいので、次回も引き続きお願いする。

(9) その他

【事務局】

今回は2月に開催予定である。答申案を提示するので、改めて活発な御審議をいただきたいと考えている。

(10) 閉会のあいさつ

【自転車総合政策担当部長】

素案がまとまり、感謝している。この計画の柱はPDCAサイクルによる進ちょく管理とと思っている。毎年、皆様の意見を伺うことでより良いものにし、市も緊張感を持って取組を進めていきたい。進化する計画、行動する計画としていきたい。

以上

京都市自転車等駐車対策協議会委員名簿

任期：平成21年6月17日*～平成23年6月16日） *改選委員は改選日から
 (敬称略, 五十音順)

氏名	役職等	出欠
秋田 和子	京都市老人クラブ連合会理事	
石野 猛	京都商店連盟理事	
伊豆田 富美子	京都市地域女性連合会常任委員	
井原 秀隆	京都サイクリング協会理事長	
井料田 信孝	京都府府民生活部安心・安全まちづくり推進課長	
上村 憲子	公募委員	
大賀 洋子	京都市立中学校PTA連絡協議会親まなび委員長	
大橋 弘司	京都百貨店協会事務局長	
水田 潤二	京福電気鉄道株式会社取締役鉄道部長	
奥田 英雄	西日本旅客鉄道株式会社京都支社企画課長	
小谷 通泰	神戸大学大学院教授	
川村 猛	京都府警察本部交通部交通規制課長	
北富 洋二	京都商工会議所理事・産業振興部長	荻野代理出席
九後 順子	阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部調査役	
小林 賢太郎	国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所長	欠席
高田 艶子	コンシューマーズ京都(京都消団連)副理事長	
田中 健介	東海旅客鉄道株式会社新幹線京都駅総務科長	
丹司 透	叡山電鉄株式会社常務取締役総務部長	欠席
塚口 博司 ○	立命館大学教授	
土田 稔	京都市交通局高速鉄道部営業課長	欠席
長島 伊津子	京都市肢体障害者協会役員	
中田 壽子	京都府視覚障害者協会理事	欠席
西本 雅則	京のアジェンダ21フォーラム事務局長	欠席
古川 孝助	京都府自転車軽自動車商協同組合理事長	
前田 勝	京阪電気鉄道株式会社鉄道企画部課長	
槇山 雅史	近畿日本鉄道株式会社鉄道事業本部企画統括部計画部長	
丸毛 静雄	株式会社京都新聞社論説委員	欠席
溝口 侑	公募委員	
村山 守	京都府警察本部交通部駐車対策課長	
李 利奈	公募委員	欠席

※ ○印は会長を表す。